



竹小だより

日進市立竹の山小学校
第6号
令和元年10月21日



時代を拓く
自他を大切にし、
ともに高め合う子<徳>
粘り強く、鍛え合う子<体>
深く考え、学び合う子<知>

9/27
(金)

「思わず息を止めて鑑賞した芸術鑑賞会 中国雑技団」



今年の芸術鑑賞会は、中国雑技団をお招きして行いました。オープニングには賑やかな**中国の獅子舞**。獅子がフロアに降りて子どもたちの中を練り歩き、子どもたちは大はしゃぎしたり怖がったり。皿回しの他、フラフープ、一輪車、ジャグリングの演技など次から次へと演技が続く、「すごい！」と**歓声と拍手**が何度もわきました。そして、最後は**イタリア世界選手権金メダリスト**による**椅子倒立**。7脚の椅子が高くそびえ、その一番上で行う演技は、**会場の皆の息が止まるくらい、ひやひやどきどき鑑賞**しました。演技の途中にはミニ中国語講座や中国の学校の説明もありました。雑技を極める人たちは、小さいときから雑技の学校に通い、食事と学習以外は、朝の5時から1日9時間もの雑技の練習に取り組み、1年のうち休みは春節の3日間だけだそうです。演技を通して、「絶対にあきらめない」「努力する大切さ」も教えていただき、意味ある会になりました。

9/26
(木)

後期児童会役員選挙

4～6年生が参加して



後期児童会役員選挙を行いました。14名が立候補し、届け出順に立会い演説をしました。よりよい竹の山小学校にするため、「あいさつ」「元気」「笑顔」「なかよし」「学年を越えて」「楽しい」などをキーワードに**それぞれのアイデアを堂々と伝えました**。16名の**選挙管理委員の運営の下に、厳正な雰囲気**が体育館に広がり、演説を聞く、**投票する子どもたちの気持ちも引き締まっていた**と思います。立候補した皆が、全校の子どもたちをリードし、**竹の山小学校のために大いに活躍してくれることを期待しています**。



10/1
(火)

4年福祉実践教室

10名の講師の先生方をお招き

し、総合的な学習の時間「**探ろう！暮らしを支える『縁の下』の力持ち**」の学習の一環で、福祉実践教室を行いました。子どもたちは、「**点字**」「**手話**」「**車いす**」「**盲導犬**」の4つの講座から2つを選択して体験しました。**点字**：自分の名前を打ち、講師の先生に読んでいただきました。**手話**：「筆談」「口話」「身振り」などがあることも知り、身振りで言葉を当ててもらったクイズにも挑戦しました。**盲導犬**：盲導犬の仕事やつらい気持ちや困ることを、『私は黒ラブ盲導犬』の歌で教えていただきました。**車いす**：車いすに乗る人・介助する人を交替しながら、段差や下りのスロープの怖さと安心できる介助を考えました。障害のある方や身近で支える方との交流を通して、感じたこと考えたことを生活で自分にもできることにつなげ、**どんな立場の人たちにも優しい気持ちをもって関わることのできる心を育んでほしいと願います**。



10/15(火)
・16(水)

6年修学旅行「共に歩み 絆を築き 心ひとつに 小学校生活最初で最後の 最高の思い出」

台風一過のすばらしい晴天に恵まれ、京都・奈良への修学旅行に出発しました。その道中、予期せぬ事故渋滞で1時間も行程が遅れましたが、子どもたちは**その状況を自覚し、金閣寺・銀閣寺の見学、昼食での一致団結した集団行動**で、そのハプニングを無事に乗り越えました。銀閣寺見学の後は、**1組は二条城、2組は三十三間堂**に向かい、現地ガイドさんの案内で見学しました。初日の最終は**清水寺**。有名な「**清水の舞台**」を見学して買い物タイムを楽しみ、宿では、**おいしい食事と念珠づくり、おしゃべりタイム**で大いに盛り上がりしました。2日目は一路奈良へ。**東大寺**での班別行動では、**大きな大仏に驚き、鹿にせんべいをやったり、買い物をしたりして楽しみました**。最後の見学地、**法隆寺**では、ガイドさんの話を聞き、**金堂や日本最古の塔「五重塔」を見上げて熱心に学習しました。全員が元気に参加でき、協力して規律ある充実した旅行になりました**。



10/15
(火)～

図書ボランティアさんによる 読み聞かせ

図書館運営に力をお借りし、**子どもたちへの読み聞かせ**をしてくださる**図書館ボランティア活動**。2学期は、朝の時間帯に3～5年生各3学級に読み聞かせをしていただきました。**子どもたちに合わせた選書やリハーサルなど丁寧な準備**をして行ってくださいます。どの子どもたちもお話の世界に**すっかり引き込まれ、読み聞かせを味わっていました**。そんな幸せなときをいただけることに**感謝の気持ちが膨らみます**。本は心の**栄養**。たくさんの知識とともに**心の中を豊かにし、様々な考え方が育つそんな本との出会いを大切にしたい**と思います。

